

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(補助金)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	400千円	500千円	1,400千円	0千円
総人件費	760千円	743千円	743千円	
総事業コスト	1,160千円	1,243千円	2,143千円	

事務事業名	01	鉛給水管交換工事費支援対策事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-			
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	
個別計画	-	-	H27年度				H28年度				
根拠法令等	水道法		改善目標	-	改善目標	-	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業分類	E 補助金・負担金事業		事業計画	水道水の安全性を向上させるため、鉛給水管交換工事助成制度を地区の回覧等を利用して周知する。	事業計画	年度早期に、本事業の目的・しくみ等についてわかりやすくお知らせ文書等を作成し、地区の回覧版にて周知を図る。	事業費(A)	400千円	500千円	1,400千円	0千円
執行体制	職員のみ		活動実績	年度早期(7月)に、本事業の目的、助成制度のしくみ及び流れについて、地区(宝陽台)の回覧によりお知らせ文書にて周知した。	上半期活動実績	-	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	鉛給水管解消の助成を行うことにより、一層安全な水の供給を図るため。		成果	助成申請: 4件 助成金交付: 5件 内1件は、前年度に申請があり今年度に工事完了したものの。	上半期成果	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	給水装置の所有者等自らが行う、鉛給水管解消の交換工事費用の2分の1に相当する額を、10万円を限度に助成する。		課題	鉛給水管交換工事の実施には、20～40万円程度の費用が掛かり助成金を差引いても相当額の負担となる。	課題	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
			評価	有効性 中:適切な成果が得られている	評価	有効性 -	一般財源	400千円	500千円	1,400千円	0千円
				効率性 中:適切な費用対効果が得られている		効率性 -	人件費(B)	760千円	743千円	743千円	
				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価 -	正職員	0.10人	0.10人	0.10人	
							時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
							臨時職員等	無	無	無	
							事業コスト(A+B)	1,160千円	1,243千円	2,143千円	
							H29年度当初積算根拠	-	-	-	
							H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	0千円	0千円	68千円	0千円
総人件費	1,519千円	1,486千円	1,486千円	
総事業コスト	1,519千円	1,486千円	1,554千円	

事務事業名	01 貯水槽水道点検調査事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略	-	実績	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	H27年度				H28年度					
根拠法令等	水道法	改善目標	-				改善目標	-			
事業分類	A 任意的事業	事業計画	平成27年度においては、100件を対象に管理状況アンケート調査を実施するとともに、無料点検調査についても案内する。貯水槽水道の管理に問題がある場合は、設置者又は管理者に指導・助言を行なう。				事業計画	年度早期に対象の貯水槽設置者100者程度を抽出して、事業の目的等がわかるお知らせ文書と貯水槽水道管理に関するアンケートを送付し、アンケート調査回答及び設置者の希望による立会点検結果に対して必要な指導・助言をする。			
執行体制	職員のみ	活動実績	貯水槽水道設置者から94者を抽出し、貯水槽点検に関するお知らせ文書(アンケート調査含む)を8月に送付し、アンケート調査及び希望者を対象に現地立会点検を実施した。				上半期活動実績	-			
事業の目的	貯水槽(受水槽)式の水道使用者(マンション居住者等)が、安心して安全な水の供給を受けるための貯水槽水道点検調査を実施し、設置者に対してその結果を伝え、適正な貯水槽水道管理を図るため。	成果	・アンケート結果(回答者:40者)から貯水槽管理状況を把握することができた。 ・現地立会点検(6者)を実施したことで、適正な貯水槽管理のための指導・助言ができた。 アンケート回答者には適正に点検管理を行っている設置者が含まれる。				上半期成果	-			
事業の概要	貯水槽設置者に対して、点検調査義務の周知及び管理状況アンケート調査を実施する。また、市で実施している無料点検調査の案内をするとともに、実施した点検調査結果に問題がある場合は、設置者又は管理者に指導・助言を行なう。	課題	お知らせ文書送付数に対し、アンケート回答者数及び立会点検希望者数が少ない。				課題	-			
ISO 14001 環境性	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				
	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	0千円	0千円	68千円	0千円		
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
一般財源	0千円	0千円	68千円	0千円	人件費(B)	1,519千円	1,486千円	1,486千円			
正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	臨時職員等	無	無	無			
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		事業コスト(A+B)	1,519千円	1,486千円	1,554千円			
H29年度当初積算根拠	-										
H29年度の方向性	-	理由	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	13,472千円	20,567千円	26,244千円	0千円
総人件費	35,688千円	27,539千円	20,111千円	
総事業コスト	49,160千円	48,106千円	46,355千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事務事業名	01 給水台帳デ-タ構築事業				指標名	-				指標種別	-						
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要				
戦略プラン	-	-	-	-	実績	-	-	-					-				
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標				
個別計画					改善目標					改善目標	給水装置情報の確認または提供にあたり、極力画面のみでの確認を心掛けることや、印刷時に図面の縮尺を使い分ける等、本システムの性能を有効に活用し、紙の使用量を削減する。						
根拠法令等	つくば市水道給水条例				事業計画	工事が完了している給水装置工事情報等(4,000件)の電子データ化及び税務地図データの更新を実施し、最新情報が閲覧可能な給水台帳管理システムを構築する。				事業計画	年度の半ばに一般競争入札にて委託契約を締結し、未登録給水装置工事情報(約5,200件)の電子データ化と地図情報データの更新を実施し、給水台帳システム内のデータを最新情報にする。						
事業分類	A 任意的事業				活動実績	一般競争入札にて9月に委託契約を締結し、未登録の給水装置工事情報4,333件を既存の給水台帳システム用にデータ化し追加登録した。また、その他地図情報等必要なシステムデータを更新した。				上半期活動実績							
執行体制	一部委託				成果	給水装置に関する情報が更新されたことで情報閲覧者に対してより最新の情報提供、問合せ等に対してより迅速な対応が可能となった。				上半期成果							
事業の目的	申請から工事完成までの給水装置に関する情報を電子デ-タ化することにより、わかりやすく正確な台帳システムによる情報提供及び給水装置に関する問合せ等の対応を迅速に行うため。				課題	次回の更新までに発生した情報に関しては、完成図等紙資料による情報管理となる。				課題							
事業の概要	従来の紙ベ-スによる台帳図、給水装置工事完成図書、地番図、市販地図等を基に台帳システム用に地理情報、各種文字属性情報を加えて電子デ-タ化し、給水台帳管理システムを構築していく。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況			事業の進捗状況	-	目標の進捗状況					
ISO 14001 関連性	天然資源の枯渇防止 給水台帳をデータ化することで、紙の使用量を削減する。				評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性			H29年度の方向性				
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性			理由				
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価							
													事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
													事業費(A)	5,724千円	11,880千円	17,378千円	0千円
													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
													一般財源	5,724千円	11,880千円	17,378千円	0千円
													人件費(B)	1,519千円	2,229千円	2,229千円	
													正職員	従事割合	0.20人	0.30人	0.30人
													正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	7,243千円	14,109千円	19,607千円	
													H29年度当初積算根拠				
													H29年度の方向性	-	理由		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	13,472千円	20,567千円	26,244千円	0千円
総人件費	35,688千円	27,539千円	20,111千円	
総事業コスト	49,160千円	48,106千円	46,355千円	

事務事業名	02 給水装置工事設計審査申請に関する事務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	-	実績	-	-	-					その他の指標							
個別計画	-	改善目標	H27年度				H28年度				事業実施コスト						
根拠法令等	つくば市給水条例	事業計画	滞りなく水道供給が図れるよう、引き続き特に問題のない給水装置工事申請に対しては、受付後6日以内を目標に工事の承認をする。				改善目標				H26年度決算						
事業分類	C 義務的事業	活動実績	近年の実績より、給水装置工事申請件数が前年度比で2割程度増加することが予想されることから、より効率的に対処していく。また、その他の関連事務に対しても同様に対処する。				事業計画				H27年度決算						
執行体制	一部委託	成果	年間で約2,600件の給水装置工事申請に対して、委託員・臨時職員との連携を図り厳正かつ迅速に設計審査等を行い、水道使用者に安心安全な供給が図れる給水装置工事の承認から完成検査に至るまで実施した。				上半期活動実績				H28年度当初						
事業の目的	給水装置工事申請の審査、水道加入金等納付書発行、納付確認及び給水装置工事承認書発行等の事務を正確かつ迅速に実施し、滞りなく市民に対して水道水の供給を行うため。	課題	事務を分担し効率的に遂行したこと等により、工事申請審査から完成検査まで滞ることなく円滑な水道水の供給ができた。				上半期成果				H29年度当初						
事業の概要	給水可能証明書発行、給水装置工事設計審査・承認、加入金徴収、国・県道道路占用許可申請、工事検査、給水装置工事事業者指定、その他給水装置工事に関連する事務全般を行なう。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				H29年度当初積算根拠							
ISO 14001 環境性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性				理由						
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性										
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	98,820千円	128,952千円	128,952千円	0千円
総人件費	9,826千円	7,223千円	9,844千円	
総事業コスト	108,646千円	136,175千円	138,796千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	03	-	営業費用 業務費(委託料)

事務事業名	01	上下水道料金徴収業務委託事業	指標名	収納率				指標種別	成果指標	指標の概要	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度
戦略プラン	-	-	-	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%	水道料金の各年度毎の収納率	
実績	-	-	-	99.88%	98.52%	-					
総合戦略	-	-	-	H27年度				H28年度			
改善目標	-	-	-	-				市民要望に対する敏速かつ適切な対応図るため、関係各課への業務引継方法の見直し変更を平成28年度内に実施する。			
個別計画	-	-	-	-				-			
事業計画	-	-	-	平成27年度末予想水道料金調定金額(税込):3,813,955千円(見込)				平成28年度予算水道料金調定額(税込):3,599,501千円(見込)			
根拠法令等	-	-	-	つくば市給水条例				-			
事業分類	-	-	-	C 義務的事業				-			
執行体制	-	-	-	全て委託				-			
事業の目的	-	-	-	上下水道料金徴収業務を民間委託することにより、市民サービスの向上を図るため。				-			
事業の概要	-	-	-	窓口対応、電話等による受付、水道開閉栓、検針、調定、認定、メ-タ-管理、その他上下水道料金徴収業務を包括的に民間委託する。				-			
活動実績	-	-	-	平成27年度水道料金調定金額(税込):3,588,340,916円 平成27年度水道料金未納額(税込):53,276,822円(平成28年4月25日現在)				-			
成果	-	-	-	水道メ-ターの検針から料金徴収までの一連の業務を正確かつ適切に実施することにより、健全な水道事業の運営に資するとともに更なる市民サービスの向上が図られた。				-			
課題	-	-	-	業務量の増加により、市民要望に対する敏速な対応や、委託業者に対するなお一層の適切な指導・監督が必要となっている。 収納率の向上のための給水停止執行の厳格化とライフラインであることの均衡を図ること。				-			
事業の進捗状況	-	-	-	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	
有効性	-	-	-	中:適切な成果が得られている				-			
効率性	-	-	-	中:適切な費用対効果が得られている				-			
総合評価	-	-	-	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-			
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-				-			
事業実施コスト	H26年度決算		H27年度決算		H28年度当初		H29年度当初		-		
事業費(A)	98,820千円		128,952千円		128,952千円		0千円		-		
内訳	国庫支出金		0千円		0千円		0千円		-		
	県支出金		0千円		0千円		0千円		-		
	地方債		0千円		0千円		0千円		-		
	その他特財		0千円		0千円		0千円		-		
	一般財源		98,820千円		128,952千円		128,952千円		0千円		
人件費(B)	9,826千円		7,223千円		9,844千円				-		
内訳	正職員	従事割合	1.25人		0.90人		1.25人		-		
	時間外勤務	123.00時間	201.00時間		209.00時間				-		
	臨時職員等	無	無		無				-		
事業コスト(A+B)	108,646千円		136,175千円		138,796千円				-		
H29年度当初積算根拠	-		-		-		-		-		
H29年度方向性	-		理由		-		-		-		

# 予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	63,622千円	67,944千円	58,914千円	0千円
総人件費	9,826千円	6,935千円	9,844千円	
総事業コスト	73,448千円	74,879千円	68,758千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	03	-	営業費用 業務費(修繕料)

事務事業名	01 水道メ-タ-検満修理・引換事業				指標名	水道メ-タ-交換数				指標種別	成果指標	指標の概要	法定検定期間満了に伴い年度内に交換した水道メ-タ-の交換数							
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度						
総合戦略	-	-	-	-	実績	12,257個	14,095個	-					その他の指標	-						
個別計画	-	-	-	-	改善目標	H27年度				H28年度										
根拠法令等	計量法	事業計画				平成27年度の交換予定個数は14,174個で、検定期間満了までに交換を実施する。				事業計画				平成28年度の交換予定個数は8,845個で、検定期間満了までに交換を実施する。						
事業分類	C 義務的事業	活動実績				建物解体等に伴い交換対象箇所が減が生じたため、14,095個の水道メ-タ-交換を実施した。				上半期活動実績				-						
執行体制	全て委託	成果				正確な検針と水道水の安定供給を確保するとともに、経営の安定化に貢献することができた。				上半期成果				-						
事業の目的	・法定検定期間(8年)を満了前に新しい水道メ-タ-に交換し、正確な検針と料金請求に資することを目的とするため。	課題				使用者財産であるメ-タ-周辺の給水管の老朽化等により、メ-タ-交換が非常に困難なケースがあるため、使用者に早急に修繕してもらえるよう、再三の連絡努力が必要である。				課題				-						
事業の概要	法定検定期間満了に伴う水道メ-タ-交換業務平成27年度交換対象となっている14,174個の水道メ-タ-を検定期間満了前に交換する。	事業の進捗状況				達成	目標の進捗状況			-	事業の進捗状況				-	目標の進捗状況			-	
ISO 14001 環境性	-	評価				有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			H29年度の方向性				-	理由	-
		評価				効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
		評価				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-									

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	63,622千円	67,944千円	58,914千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	44,224千円	67,944千円	58,914千円	0千円
人件費(B)	9,826千円	6,935千円	9,844千円	
正職員	従事割合	1.25人	0.90人	1.25人
正職員	時間外勤務	123.00時間	93.00時間	209.00時間
臨時職員等		無	無	有
事業コスト(A+B)	73,448千円	74,879千円	68,758千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	19千円	701千円	82千円	0千円
総人件費	3,944千円	1,583千円	3,811千円	
総事業コスト	3,963千円	2,284千円	3,893千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	03	-	営業費用 業務費

事務事業名	01	上水道加入促進事業	指標名	水道普及率				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市の常住人口に対する給水人口の割合			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	82.2%	83.32%	83.34%	83.36%	83.38%	83.40%	83.42%				
総合戦略	-	-	-	実績	84.6%	86.07%	-							
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度						
根拠法令等	-	-	-	改善目標	-				改善目標	本年度の実施時には、部内での協力を呼びかけ、更なる効率化を図る。				
事業分類	B	任意的事业(小規模)	事業計画	毎年6月の「水道週間」に、加入推進の市報掲載。「まつりつくば」イベント事業に参加し、水道水の試飲等の実施、水道加入促進並びに水資源啓発事業の展開及び市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施。地元要望による地区説明会を実施。普及促進を図るため水道水のペットボトルを作成。				事業計画	毎年6月の「水道週間」に加入推進の市報掲載。「まつりつくば」イベント事業に参加し、水道水の試飲実施、水道加入推進並びに水資源啓発事業の展開および市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施する。地元要望による地区説明会を実施する。					
執行体制	職員のみ		活動実績	毎年6月の「水道週間」に加入推進の市報掲載した。「まつりつくば」イベント事業に参加し、水道水の試飲実施、水道加入推進並びに水資源啓発事業の展開および市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施した。地元要望による地区説明会を7回実施した。普及促進を図るため水道水のペットボトルを4,000本作製した。				上半期活動実績	-					
事業の目的	上水道に対する理解を深め、市民が健康で快適な生活を送れることができるよう安全・安心な上水道への早期接続を推進するため。		成果	上水道の普及率の向上を図ることができた。				上半期成果	-					
事業の概要	毎年全国規模で開催される「水道週間」を中心に、市民へ上水道の理解を深めてもらう。また、年間を通じてホ-ムペ-ジによる上水道の安全性や情報の発信を行い、今後の上水道普及の促進を図る。更に、イベント事業に参加しアンケートや利き水等の啓発活動を展開するとともに、地元要望による説明会等へ参加する。		課題	部内での協力体制や、更なる効率的な対応が課題となっている。				課題	-					
ISO 14001 環境性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度当初積算根拠	理由					
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-								
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-								
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	19千円	701千円	82千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源	19千円	701千円	82千円	0千円
					人件費(B)	3,944千円	1,583千円	3,811千円		正職員	従事割合	0.50人	0.20人	0.50人
										時間外勤務	54.00時間	36.00時間	36.00時間	
										臨時職員等	無	無	無	
					事業コスト(A+B)	3,963千円	2,284千円	3,893千円						